

専門職大学院は1年制の社会人を対象にした実学重視の大学院として13年目を迎えた。今年も多様な事業分野、専門領域、経験を持つ新入生を迎えた。

4月1日には入学式、4月3日から授業という、慌ただしいスケジュールの中、仕事の事から昨年年度1年間休学した1名を加えた19名が大学院生としてのスタートを切った。

男女構成は男性16名、女性3名であり、授業で

は女性が積極的に発言し、また活発に議論を盛り上げる光景が繰り返されている。

入学者の平均年齢は38・78歳で、最年少者は26歳、最年長者は54歳である。年齢を重ねてからも虚心坦懐に新しい知識を身に付けようと努力し、また自分の次のステップについて真剣に考え取り組み、技術経営の手ほどきを受けている真摯な姿は、他の若い院生の刺激となっている。

個人での出願者は8

名、会社派遣は11名という内訳である。また上場企業の現役経営者、後継者、幹部社員から独立行政法人勤務と、職位や会社規模も多様である。業種的には、モノづくり系7名、システム開発などIT系6名、教育・コンサルティング等サービス系6名の構成である。国籍は日本16名、中国2名、韓国1名である。

授業は春・夏・秋・冬の4学期に分かれており、平日18時30分〜21時

40分の2コマ、そして土曜日の9時30分〜18時20分(学期によっては20時の5コマないし6コマが用意されている。院生は多くの科目の中から各自の希望と勤務の都合を調整し、各自の時間割を作成する。

専門職大学院では受験資格として5年以上の実務経験を求めている。そのため院生は職場経験を豊富に積んだ社会人であり、活躍する各分野ではこの課題を肝に銘じ、院生の成長に貢献する決意である。

本学での1年間の密度の濃い学習は、自分自身の知識体系を見つめなおし、新しい、より広い知識と視野を身につけられる機会になると確信する。

専門職大学院の入学式

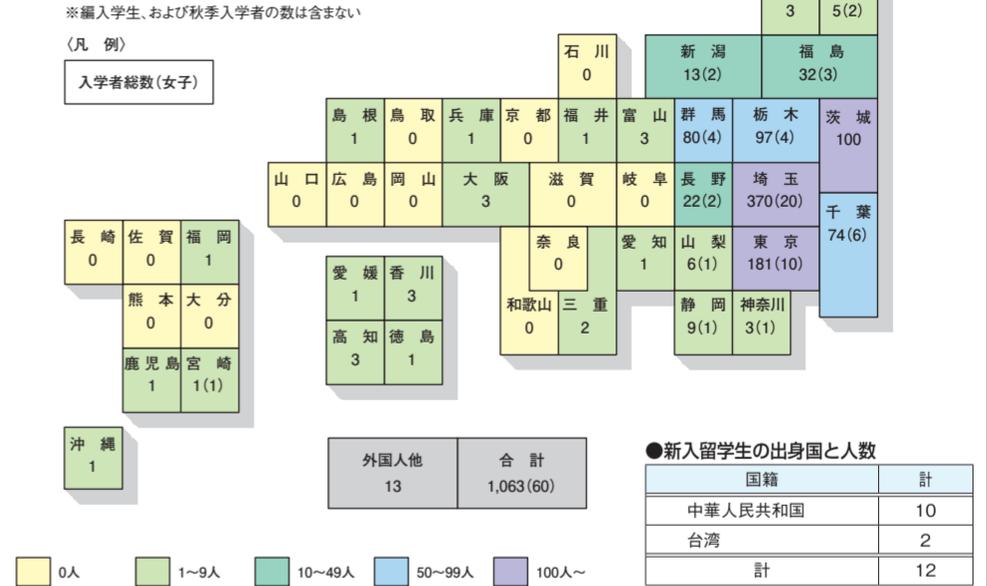
技術経営研究科・教授 近江 正幸

専門職大学院だより

新入生の出身地マップ

33都道府県から1,063名が入学

工学部の平成29年度都道府県別入学者数がまとまった。総入学者数は1,063名(入学定員は1,000名)。うち女子学生は60名である。都道府県別入学者数は、昨年に続き埼玉がトップで370名。次いで東京が181名、茨城100名、栃木97名、群馬80名がベスト5である。入学者は、全国33都道府県から集まっている。



新入生対象フレッシュマンキャンプ

入学直後の貴重な交流の場

フレッシュマンキャンプは今春入学の新入生がクラスメイトや先輩、教員との親睦を深めることを目的としており、今年も4月5日から2日間の日程で実施。実施場所や実施内容は学科ごとに企画され、移動中のバスや宿泊施設において大学生活に関するオリエンテーションが行われたほか、

施設見学やレクリエーションが催された。新入生の中には、知り合いや友人の居ない中、実家を離れて初めて1人暮らしを始める学生も多い。そうした学生にとってこのキャンプは、入学直後に行われることから、新しい友人づくりの絶好の機会となっている。



カレーライスづくり(ものづくり環境学科)



大内宿散策(建築学科)

学科	主な実施場所・宿泊場所	主な実施内容
機械工学科	栃木/益子館里山リゾートホテル	クラス対抗レクリエーション、夜間研修
ものづくり環境学科	埼玉/本学宮代キャンパス	カレーライスづくり、スポーツイベント(ドッジボール)
創造システム工学科	埼玉/本学宮代キャンパス	外部業者による新入生向け研修
電気電子工学科	埼玉/本学宮代キャンパス	外部業者による新入生向け研修
情報工学科	栃木/鬼怒川パークホテルズ	グループレクリエーション
建築学科	福島/国立磐梯青少年交流の家	世界のガラス館 猪苗代店見学、大内宿等散策
生活環境デザイン学科	千葉/水郷小見川少年自然の家	高齢者介護施設、就労支援施設の見学

高校生対象のコンテストを実施します

第9回 3D-CADプロダクトデザインコンテスト

「役に立つメカ」

本コンテストでは3次元CADを用いたデザインを通じ、ものづくりの最先端技術を学ぶことができる。募集作品はテーマ部門「役に立つメカ」、自由デザイン部門、CGアイデア部門。希望者は、8月26日迄に事務局(nagasaka@nit.ac.jp)まで。

<https://2c-laboratory.sakura.ne.jp/pdcontest/>

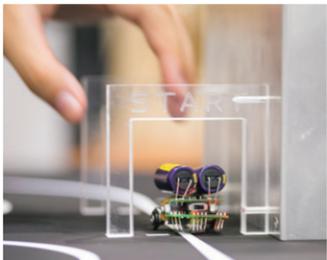


昨年の入賞作品

第11回 マイクロボコン高校生大会

疾走する1インチ角ロボット

本コンテストは、1インチ角の小さなロボットを作製し、自律的にコースを走行させ、タイムを競うものである。



白線上のコースを走行し、タイムを競う

第11回大会の開催は12月23日。名刺サイズのネームカード部門を新設し、初心者の参加も歓迎している。

<http://ise.nit.ac.jp/mrc.html>

第31回 建築設計競技

「風景を開く家」

建築を学ぶ高校生を対象とした建築設計競技。審査員には建築家の宮晶子氏を迎え、本学生活環境デザイン学科勝木祐仁准教授、建築学科竹内宏俊准教授が担当する。締切は8月31日。審査結果は9月上旬ホームページ上にて発表。

<http://www3.nit.ac.jp/kenchiku/>



入賞作品はLCセンターに展示



専門講師から護身術の指導を受ける女子学生

4月4日、女子学生対象の「防犯セミナー」及び「女子学生交流会」が開催された。この活動は平成25年度から行われており、今年で5年目を迎えている。今年も初めて防犯セミナーを企画。ALSOKから講師を招き、一般的な防犯知識と護身術について学んだ。実践を交えた護身術では二人一組となり、手を掴まれた時、背後から抱きつかれたらどうするかを学んだ。上級生達は、学業に関する注意やクラブ活動の経験談などを披露し、後輩の不安を取り除くなどの気配りをしていった。

女子学生対象交流会 防犯セミナーを初開催

4月4日、女子学生対象の「防犯セミナー」及び「女子学生交流会」が開催された。この活動は平成25年度から行われており、今年で5年目を迎えている。今年も初めて防犯セミナーを企画。ALSOKから講師を招き、一般的な防犯知識と護身術について学んだ。実践を交えた護身術では二人一組となり、手を掴まれた時、背後から抱きつかれたらどうするかを学んだ。上級生達は、学業に関する注意やクラブ活動の経験談などを披露し、後輩の不安を取り除くなどの気配りをしていった。

籍数の少ない女子学生が、男子学生が多い環境下でも元気に楽しくキャンパスライフを送れるようになり、毎年開催されている。今年も初めて防犯セミナーを企画。ALSOKから講師を招き、一般的な防犯知識と護身術について学んだ。実践を交えた護身術では二人一組となり、手を掴まれた時、背後から抱きつかれたらどうするかを学んだ。上級生達は、学業に関する注意やクラブ活動の経験談などを披露し、後輩の不安を取り除くなどの気配りをしていった。

時の対処法等を学んだ。「危険を回避する慎重な行動と凛とした態度が護身術の極意」とのことである。

セミナーの後は、改装されたキッチン&カフェトレビで、昼食を兼ねた交流会が開催された。本年度入学した女子学生60名と在校生21名、大学側からは成田学長ほか執行部4名と女性教職員12名が参加した。学生支援部長より趣旨説明と先輩女子学生の活躍事例、大学生活を送るうえでの注意点などが紹介され、新入生への期待が述べられた。学科別に分かれた昼食では会話が弾み、和やかな談笑の輪が広がった。上級生達は、学業に関する注意やクラブ活動の経験談などを披露し、後輩の不安を取り除くなどの気配りをしていった。

学生支援部長賞 受賞者決定

3月16日、学生支援部長室にて平成28年度学生支援部長賞の表彰式が執り行われた。各種国家試験合格者、国体や世界選手権等出場チームまたは個人、社会活動での感謝状等の受領者、

課外活動や社会活動で顕著な実績を挙げた学生が対象となり、今回は3団体と個人4名が受賞。受賞者には竹内学生支援部長より表彰状と記念品が贈呈された。

受賞者一覧

氏名又は団体名	申請内容
機械工学科 宇佐美貴之	エックス線作業主任者試験合格(単位認定4単位)
情報工学科 中村敏嗣	応用情報技術者試験合格(単位認定4単位)
電気電子工学科 清水貴仁	第29回全日本学生フィールドアーチェリー個人選手権大会出場
機械工学科 松永直樹	東日本理工系大学体操競技選手権大会個人総合優勝4連覇 全日本学生体操競技大会4年連続出場
IRT トレーナー(創造システム工学科 宮田和也・車谷亮祐)	第19回ロボットグランプリ ロボットランサー競技「娯楽賞」受賞
ロボット創造工房	第29回ROBO-ONE(ロボワン) Futaba賞受賞
体操競技部	東日本理工系大学体操競技選手権大会団体総合優勝4連覇



環境マネジメント活動 今年度も目標を達成



中古家具などを新入生に譲渡するリサイクルショップ

ISO16年度における環境マネジメント活動は、目標をほぼ達成している。特にエネルギーの削減は、東日本大震災以降から継続している省エネへの取り組みや施設・設備改善の効果が大きい。一方、上水使用量の削減は、基準値を下回ったが目標は未達成だった。

省エネへの取り組みと施設・設備改善 節電ポスターの掲示、空調の中間期完全停止、外気温による空調運転制御、棟別に30分間の内5分間空調遠隔停止などを昨年引き続き実施した。また14号館及びE1棟の照明をLED化した。さらに9号館南面の窓ガラスに遮熱フィルムを貼った結果、CO2排出量の20%削減目標に対しては、

廃棄物の削減については従来の削減数値目標を廃止し、3Rによる減量化・資源化の排出制御が新たな目標となった。以下に具体的な活動の一部を紹介する。

環境教育 環境方針カードや緊急連絡・行動カードの配布、高圧ガス・化学物質取扱講習会や環境特別講演会など学生や教職員に環境意識の普及と啓発を実施した。また従来実施している年2回の防災訓練

に21%削減となった。廃棄物の排出制御 新棟建設に伴うクラブ棟解体や退職者研究室整理では、再利用が可能な備品等を倉庫に一時保管し、リユースを呼び掛けた。



に加え、今年度から新たに1年生全員を対象とした避難訓練を実施した。

地域清掃活動や森づくりボランティア事業、宮代町のイベント等にも参加・協力をしている。卒業生の不要家具・家電を回収し、新入生に無償譲渡するリサイクルショップは久喜宮代衛生組合主催の「平成28年度久喜宮代衛生組合ごみを減らしてきれいな街づくり表彰」資源リサイクル推進団体部門において、最優秀賞を受賞した。

その他のEMS活動についてはWEBサイトをご覧いただきたい。

就職支援情報

売り手市場が続く中、採用活動はさらに早期化へ。

大卒者に対する求人8年連続して採用需要が伸びている。今年は、非製造業の伸び率が鈍化したのに対し、製造業の採

用意欲が高いのが特徴である。特に中堅企業では人材不足が深刻で、様々な対策に乗り出している。学生との確実な接触を図るための

「大学内説明会の開催」、2年生あるいは3年生の夏期に実施するインターンシップによる

「早期の囲い込み」などである。そのため学生は早くから就職に対する意識を高め、準備をす

ることが必要な時代になっている。本学における平成30年3月卒業見込み者の就職活動は3年生の3月に解禁となり3ヶ月が経過した。経団連が定めた就職協定では、企業は6月から10月までの選考期間内に内定を出すことになっている。しかし実際には

多くの卒業生を採用し、本学学生の特長を理解し好意を持っている上場あるいは優良企業である。最近の就職活動には親の理解も重要である。年々早期化される採用活動に対応するため学部2年生、3年生、さらに大

後援会定期総会 開催報告

予算、執行部人事など承認

5月21日、大学学生会館にて後援会定期総会が開催された。

第1号議案「平成28年度事業報告」、第2号議案「平成28年度決算報告」、第3号議案「平成29年度事業計画」、第4号議案「平成29年度予算」、第5号議案「理事・監事の銜衡」は慎重審議の上、全て承認され、総会は無事終了した。

新執行部は左記の通り。 会長 廣瀬 修(神奈川) 副会長 菅原昌人(新潟) 加藤仁司(福島) 市川道教(東京) 総務 榎岡明美(神奈川)



合同企業説明会で担当者の説明を聞く学生たち

「早期の囲い込み」などである。そのため学生は早くから就職に対する意識を高め、準備をす

ることが必要な時代になっている。本学における平成30年3月卒業見込み者の就職活動は3年生の3月に解禁となり3ヶ月が経過した。経団連が定めた就職協定では、企業は6月から10月までの選考期間内に内定を出すことになっている。しかし実際には

多くの卒業生を採用し、本学学生の特長を理解し好意を持っている上場あるいは優良企業である。最近の就職活動には親の理解も重要である。年々早期化される採用活動に対応するため学部2年生、3年生、さらに大

学院1年生の保護者を対象に、5月20日に「保護者のための就職ガイダンス」を実施した。第一部で本学の現状報告、第二部で「就職戦線の現状と取り組み方について」を「親」として知っておくべき就活のこと」と題した講演、最後に「就職相談会」として大学院進学や就職に関する質疑応答を行い、盛況の中終了した。

今後は、様々な理由で内定に至らなかった学生を対象に、保護者と本人を交えた三者面談を10月7日に就職支援課にて実施予定である。



学生会館ホールにて開催

平成29年度 科学研究費補助金内定

4月1日に日本学術振興会より平成29年度科学研究費助成事業の交付内定が通知され、本学は下記12件の研究課題が新規採択を受けた。継続課題26件を含めると、本年度は38件の課題が科学研究費の助成を受けることとなる。

本学教員の研究課題は、ものづくりの基盤を支える技術から今後の技術革新に繋がる可能性を秘めたものや人文社会系統に及ぶなど、多岐にわたる。研究成果が、わが国の科学技術や学術の発展に貢献できるよう期待したい。

平成29年度 科学研究費助成事業 交付決定者・内定者一覧

研究種目	所属	職	研究代表者氏名	継続/新規	採択年度	研究課題名
基盤研究(B)	電気電子工学科	教授	平栗 健史	新規	29	Massive MIMOを用いた3次元ドローンメッシュネットワーク制御の研究
基盤研究(C)	機械工学科	教授	村田 泰彦	新規	29	電磁誘導加熱を用いたフッ素エラストマーと熱可塑性樹脂との多層圧縮成形法の開発
基盤研究(C)	機械工学科	准教授	加藤 史仁	新規	29	送液ポンプを集積化した無線駆動型高周波水晶振動子バイオセンサの開発
基盤研究(C)	創造システム工学科	教授	伴 雅人	新規	29	グラフェンを用いた硬/軟ハイブリッド基質によるヒト間葉系幹細胞の分化誘導
基盤研究(C)	電気電子工学科	教授	吉野 秀明	新規	29	センサーデータの時空間集約による異常トラヒック検知手法の研究
基盤研究(C)	情報工学科	准教授	神林 靖	新規	29	移動エージェントと群知能を用いた群ロボットの効率的な制御の研究
基盤研究(C)	建築学科	教授	那須 秀行	新規	29	塗布状制振素材及びテープ状制振素材による木造制振耐壁の開発と実棟3次元挙動解析
基盤研究(C)	建築学科	助手	野口 憲治	新規	29	長崎の近世町家の特質とその室内意匠
基盤研究(C)	共通教育系	准教授	市川 泰弘	新規	29	再帰代名詞を含むGET構文からの拡張：主語名詞の「働きかけ」の希薄化の観点から
基盤研究(C)	共通教育系	准教授	川上 省三	新規	29	ハニフ・クレイシンの作品に見られるイスラム教移民の意識の変化
基盤研究(C)	共通教育系	准教授	芳賀 健	新規	29	植物の光順応性を制御する分子機構の解明
若手研究(B)	ものづくり環境学科	准教授	桑原 拓也	新規	29	プラズマ放電磁気機能性流体を用いた排ガス微粒子浄化の高機能化
基盤研究(B)	創造システム工学科	教授	新倉 謙一	継続	28	B細胞表面層での分子認識制御によるユニバーサルネットワークの創製
基盤研究(B)	創造システム工学科	教授	白木 将	継続	28	薄膜型全固体リチウム電池におけるイオン伝導特性
基盤研究(C)	機械工学科	教授	神 雅彦	継続	28	次世代半導体基板の超音波振動を応用した精密研削/研磨技術に関する研究
基盤研究(C)	ものづくり環境学科	教授	安原 鋭幸	継続	28	高周波誘導加熱・レーザー重量によるCFRTP成形法の開発
基盤研究(C)	創造システム工学科	教授	佐野 健一	継続	28	分子の表面電荷と異方性構造を利用したタンパク質葉細胞内送達担体の創製
基盤研究(C)	創造システム工学科	教授	樋口 勝	継続	28	スキルアシストシステムのための6自由度ハイブリッドパラレル機構の開発
基盤研究(C)	創造システム工学科	准教授	池添 泰弘	継続	28	りん光材料の磁性変化を利用した新原理によるレーザーマニピュレーション技術の開発
基盤研究(C)	建築学科	教授	三坂 育正	継続	28	快適な屋外空間創出のための温熱環境設計条件の抽出と設計手法の確立
基盤研究(C)	建築学科	准教授	菊田 貴恒	継続	28	長寿命型構造架橋を実現する超高強度ひずみ硬化型セメント系複合材料の開発
基盤研究(C)	生活環境デザイン学科	准教授	樋口 佳樹	継続	28	コンポストトイレ導入による災害後も自宅を過ごすことができる住まいの実現
基盤研究(C)	共通教育系	准教授	河住有希子	継続	28	視覚障害教育から切り拓く国際共生社会における日本語インクルーシブ教育の基盤構築
基盤研究(C)	専門職大学院	教授	西尾 好司	継続	28	企業のオープンイノベーションの場となる産学共同研究に関する研究
若手研究(B)	電気電子工学科	准教授	木村 貴幸	継続	28	高品質リアルタイム通信を可能とする決定論的カオスを用いた経路制御手法の開発
基盤研究(C)	機械工学科	教授	中野 道王	継続	27	排気ガス組成制御による大量EGRガソリンエンジンの研究
基盤研究(C)	機械工学科	教授	張 暁友	継続	27	長ストロークと高精度の両立可能な、特殊加工用5自由度磁気浮上アクチュエータの研究
基盤研究(C)	ものづくり環境学科	教授	雨宮 隆	継続	27	貝殻を模倣したグラフェン積層構造高機能材料の開発
基盤研究(C)	ものづくり環境学科	教授	鈴木 宏典	継続	27	多重追突事故防止を目指す予防安全型車群制御の実現：車群走行状態推定システムの開発
基盤研究(C)	創造システム工学科	准教授	滝田 謙介	継続	27	薄型胴体を持つヘビ型ロボットの研究
基盤研究(C)	電気電子工学科	教授	神野 健哉	継続	27	力学系理論に基づく正準型粒子群最適化の開発
基盤研究(C)	電気電子工学科	教授	青柳 稔	継続	27	作製容易な超音波ファントム材料の創出と、その構造解析に関する研究
基盤研究(C)	建築学科	教授	佐々木 誠	継続	27	住宅団地再生における地域と大学の連携に関する研究
基盤研究(C)	共通教育系	教授	工藤 浩	継続	27	「先代旧事本紀」の総合的研究
基盤研究(C)	共通教育系	准教授	大野 修一	継続	27	解析関数空間の構造とその上の線形作用素の研究
挑戦的萌芽研究	共通教育系	教授	服部 邦彦	継続	27	マイクロ波パッシブブレダを用いた空中高圧送電線検知法の開発
若手研究(B)	生活環境デザイン学科	准教授	工藤 瑠美	継続	27	浴槽表面のすべりの評価方法に関する研究
若手研究(B)	共通教育系	准教授	佐藤 弘康	継続	27	ブーゼマン・ボアソン核を許容するアダマール多様体の重心写像の幾何学

大島研究室開発のペット用福祉機器

春日部市、川崎市の
コンテストでW受賞

機械工学科の大島康彰教授が開発したペット用福祉機器「ランダムカート」が2月26日、埼玉春日部市主催「第1回かさかべビジネスプランコンテスト・ビジネスプラン部門」において最優秀賞を受賞した。また3月17日には、公益財団法人川崎市産業振興財団主催「第106回かわさきビジネスオーデイション」において「かわさきビジネス・アイデアシーズ賞」を受賞した。



ランダムカートは犬の細かい動きにも対応できる

ランダムカートは犬の細かい動きにも対応できる。ランダムカートは犬の細かい動きにも対応できる。ランダムカートは犬の細かい動きにも対応できる。

ランダムカートの開発は平成24年度から機械工学科の島方啓輔さん(25年3月卒業)の研究としてスタート。動物病院「アニマルクリニックこぼやし」の協力を得て3年半をかけて完成した。製品は4月から動物病院や一般向けに発売されており、大島教授が代表取締役となった。昨年度に立ち上げた学内ベンチャー企業「株式会社ランダム」が製造、販売を手がけている。

環境共生システム学専攻 石倉嵩也君
自動車の予防安全技術で2団体から受賞

環境共生システム学専攻博士前期課程2年(受賞時)で鈴木宏典研究室所属の石倉嵩也君が3月7日に自動車技術会「大学院研究奨励賞」、22日に日本機械学会「若手優秀講演フェロー賞」を受賞した。

受賞論文名は共に「車群走行状態の動的推定に基づく減速予見情報の提示」。車群走行時の追突事故を未然に回避するなど、安全な運転行動を促す効果も期待される。



受賞に際し石倉君は「努力の成果を実感する

受賞に際し石倉君は「努力の成果を実感する」と語った。受賞に際し石倉君は「努力の成果を実感する」と語った。

ビジネスプランコンテスト
作品の募集開始

斬新で実現可能なビジネスプランを学生から募集。事業内容、経費や利益などのプレゼンテーションをもとに選考を行い、優秀なプランには各賞が授与される。



昨年のプレゼンテーションの様子

シラオ仮面専用自転車
学生が製作に協力

埼玉県白岡市のマスコットキャラクター「シラオ仮面」専用のデコレーション自転車製作に本学が協力した。機械工学科1年(当時)の濱崎拓人さんがデザインを担当し、本学のチュードントラボで製作作業が行われた。



(左より) 濱崎さん、シラオ仮面、小島市長

3月28日に市役所において引渡式が執り行われ、濱崎さん、指導にあたった機械工学科大島康彰教授、竹内貞雄学生支援部長、スチューデントラボ所属の坂本悦男職員が立ち合いのもと、シラオ仮面と小島白岡市長に

学生が宮代町と協力して制作
「日工大生応援店ガイド」完成

日工大生応援店ガイドは、宮代キャンパス周辺の20店の飲食店が紹介されたミニ情報誌で、1年間有効の学生用割引クーポンも兼ねている。宮代町の商業活性化を考えたワークショップによって一昨年より企画、制作



今回から豆本サイズになり、携帯に便利

と写真など学生のセンスが光る仕上がりがとまった。ガイドは本館玄関ホール、広報室前掲示板で配布している。

食堂券売機で現金チャージが可能。以前より学生食堂では、学生証に予め現金をチャージしておき、電子マネーとして券売機で利用できるシステムを導入している。

人事異動。【任用】(5月1日付) 後藤裕樹助手(建築技術センター) 平成24年3月日本工業大学工学部建築学科卒業。前(株)タジマ勤務。

国外出張。丹治明講師(機械工学科) / 出張先 台湾(4/5~4/7) / 目的 ワークショップ・機械遺産の(動態)修復と展示にて講演

訂正。206号4面の「学業奨励奨学生名簿」に誤記がありました。お詫言ひして訂正いたします。

季節を知る目安となる暦の上での区切りを二十四節気と呼ぶ。太陽の運行を元に1年を24等分したものである。

室長兼担 當間喜久雄教授(再任) 生涯学習センター長兼 山浦登志夫企画室長(新任) システム管理室長兼 山浦登志夫企画室長(新任) 留學生別科主任 吳志良教授(再任) 学支支援センター副センター長兼担 岩崎利信教授(新任) システム管理室長補佐 橋浦弘明助教(再任) 総務部長 林祐司(新任) 教務部事務部長・教務課長兼務 松永浩徳(新任) 財務課長 山本好央(新任) 教務課主任・LCセンター事務課主任兼務 日下部恵美子(新任) 【配置換え】(4月1日付) 先端材料技術研究センター 野口裕之准教授(機械工学科) 超高温圧研究センター 清水博幸助教(電気電子工学科) 総務課 永野由佳職員 教務課 青木健治職員 教務課 青木健治職員

【日程変更】205号掲載より変更 ◆佐々木誠教授(建築学) / 出張先 台湾(3/13~3/16) / 目的 台湾における住宅団地及び既成市街地の経年変化と維持管理

宮代町より 207号



日時 7月1日(9時) 集合 新しい村 定員 20名(先着順) 参加費 3000円

編集後記

季節を知る目安となる暦の上での区切りを二十四節気と呼ぶ。太陽の運行を元に1年を24等分したものである。